

第3回検討委員会での主な意見について

- ・第3回検討委員会で頂きました主な意見について、アクションプラン（素案）等での対応について示します。

第3回検討委員会での主な意見	対応
全体	
○資料1 主な意見の修正 <ul style="list-style-type: none"> ・「③樹林地の災害危険性に対する安全確保」について、「小山田の緑は魅力的であると同時に、危険な緑でもあるということを認識すべきである。藪になっている農地では、水土砂災害や山林火災などの危険を回避する必要がある。」と修正してほしい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・水土砂災害や山林火災などの危険性については、アクションプラン p.8 「町田市北部丘陵活性化計画の成果と課題」において、現状の課題の1つとして記載しました。
○鶴見川流域水マスタープラン等への言及 <ul style="list-style-type: none"> ・北部丘陵は鶴見川流域全体を見ても大変重要であるため、アクションプランの中に「鶴見川流域水マスタープラン」の内容を加えるべきであり、また、「流域水循環計画」を受けて内容を考えるべきである。 	<ul style="list-style-type: none"> ・「鶴見川流域水マスタープラン」については、アクションプラン p.4 「北部丘陵の価値・魅力」の中で記載しました。
○都市計画道路 3-4-40 号線の位置づけについて <ul style="list-style-type: none"> ・重点事業⑤「幹線道路等の計画・変更等」について、幹線道路に都市計画道路 3-4-40 号線が入っていない。載せた方が良くはないか。 	<ul style="list-style-type: none"> ・都市計画道路 3-4-40 号線については、アクションプラン重点事業⑤「北部丘陵で整備が予定されている幹線道路等の位置図」の中に記載しました。
○重点事業の記載方法について <ul style="list-style-type: none"> ・提案されているアクションプランがプロジェクト計画に見えない。具体的な事業計画をイメージさせるものにすべきと考える。 ・プログラムベースでアクションをまとめるだけでなく、現場の地べたベースでのまとめが必要。今回の対象はどこで（小山田地域であれば、大善、西山中谷戸等）、それぞれどのようなイメージになるかがマトリックスでわかるような資料も必要である。 	<ul style="list-style-type: none"> ・アクションプランの重点事業については、可能な限り具体的な内容を記載するように精査しました。
○次回検討委員会の進め方等 <ul style="list-style-type: none"> ・市有地と民有地の場所がどこかわかる大きな図面を見ながら議論したい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・大きな図面を用意します。
小山田地域	
重点事業①：新たな交流・回遊拠点の開設 ○大善倶楽部を拠点候補に <ul style="list-style-type: none"> ・630号線が全線開通予定であること、大善倶楽部の土地は市有地であること、周辺にも活用可能な土地があること等を踏まえ、大善倶楽部の敷地を拠点としてもよいのではないか。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ご意見を踏まえ、アクションプラン重点事業①の内容を精査しました。
○拠点の設置は複数に。ランチシステムも検討する。 <ul style="list-style-type: none"> ・拠点はもっと多くあってもよいのではないか。 ・直売所として野菜を置くだけでなく、人がどうやって出入りするかを含めた、ランチシステムも考えるということにしてはどうか。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ご意見を踏まえ、アクションプラン重点事業①の内容を精査しました。

<p>重点事業②：里山環境の回復や保全を促進する仕組みの構築</p> <p>○各地域での活動のイメージ</p> <ul style="list-style-type: none"> ・野中谷戸は、木道を設置しNPO法人鶴見川源流ネットワークがツアーリズムを推進。 ・鶴見川源流は危険なので、市民が手を付けない方が良い。 ・北の谷は、田中谷戸街づくり協議会が山つつじの里づくりを進める。 ・西山中谷戸は、町田市と大善にできる地元住民が協働して、火災防災、自然再生を進める。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ご意見を踏まえ、参考資料を作成しました。
<p>○源流・保水の森付近の整備イメージ</p> <ul style="list-style-type: none"> ・源流の泉から展望広場、長池公園へつながる道を遊歩道整備（草刈し、人を呼び込むのが良いのではないか。そこに展望台があるとよい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ご意見を踏まえ、参考資料を作成しました。
<p>○地元住民が活動始めるための仕組みづくり</p> <ul style="list-style-type: none"> ・総論が良くても、有償ボランティア等、ある程度の報酬がないと継続はできない。きちんと整備しようとすると、仕組みや予算が必要である。 ・町内会経由での組織化は難しく、新たに会を立ち上げる必要がある。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ご意見を踏まえ、仕組みづくりについては検討してまいります。
<p>重点事業③：「(仮称) 町田市山林バンク」の実施</p> <ul style="list-style-type: none"> ・お金がかからないやり方という展開は無理があるのではないか。 	<ul style="list-style-type: none"> ・(仮称) 町田市山林バンクについては、先行事例のヒアリング等を行い、事業の目的や内容が理解できるように書き方を修正しました。
<p>重点事業④：『(仮称) 北部丘陵まちづくり推進会議』の設置</p> <p>○「北部丘陵まちづくり推進会議」への出席者</p> <ul style="list-style-type: none"> ・各団体からの出席者は2名以上入れてほしい。そうすれば、小山田・小野路両方の議論に参加でき、全体が把握できる。 ・検討の途中で、委員以外の各団体の代表が出席できるような「拡大検討会」などを開き、議論の内容を共有してもよいのではないか。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ご意見を踏まえ、アクションプラン重点事業④において、「北部丘陵まちづくり推進会議」の内容を精査しました。
<p>重点事業⑥：北部丘陵での活動や魅力の効果的な情報発信</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「町田市観光コンベンション協会」と地域の活動団体の協働について、市が間に入って、具体的に進めてもらいたい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ご意見を踏まえ、アクションプラン重点事業⑥において、地域の活動団体と町田市観光コンベンション協会との連携について記載しました。
<p>小野路地域</p>	
<p>重点事業①：新たな交流・回遊拠点の開設</p> <p>○具体的な事業計画（拠点の候補地、収益方法等）の検討</p> <ul style="list-style-type: none"> ・里山交流館がどのような事業計画を立てたのが重要である。どのくらいの人を集客するか、野菜の販売売上をどのくらい見込むのかを考えると、新たな拠点の具体的な施設イメージができない。 ・地産地消を考えた時、地域で収穫できる農産物で一定の収益を上げることができることが重要。たけのこすめ、竹粉（竹ぬか漬け、乳酸菌竹パウダー、土壌改良用竹粉等）。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ご意見を踏まえ、アクションプラン重点事業①において、拠点の開設場所と合わせて、具体的な事業計画を検討することを記載しました。

<p>○拠点の開設場所、担い手のイメージ</p> <ul style="list-style-type: none"> ・どこに設置するかが一番重要。おもてなしできる人員の確保が重要であり、地元がどれだけ参画してくれるかが重要。 ・新たな拠点は、里山交流館とは異なる特色が必要と考える。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ご意見を踏まえ、アクションプラン重点事業①において、拠点の開設場や担い手について可能な限り記載しました。
<p>重点事業②：里山環境の回復や保全を促進する仕組みの構築</p> <ul style="list-style-type: none"> ・農産物の販売以外に、小学生を対象とした体験農業、高齢者向けの昔ながらの農業の伝承、自然のもの（落ち葉、牛糞）を使った有機栽培なら農産物を販売するのもよい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ご意見として賜り、アクションプラン重点事業②の実施に向けた検討にいかしていきます。
<p>重点事業③：「(仮称) 町田市山林バンク」の実施</p> <p>○山林保全の担い手や具体的な展開イメージ</p> <ul style="list-style-type: none"> ・里山交流館でも、新たな戦略が必要だと考えている。宿通り北側の竹藪を手入れさえすれば、新たなフットパスルートになると考える。 ・小野路宿通り両側の竹林において、市有地を先行的に手入れし新たなフットパスルートを開拓してはどうか。その後、民有地へ広げることが考えられる。すべてをきれいにすることは難しいため、例えば、木こり応援隊にお願いし、年に数回スポット的に手入れするのが良い。 ・マウンテンバイクがどこでも入れるようにしないために、この場所なら良いという場所をつくるものよいだろう。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ご意見として賜り、アクションプラン重点事業③「(仮称) 町田市山林バンク」の実施に向けた検討にいかしていきます。
<p>重点事業⑥北部丘陵での活動や魅力の効果的な情報発信</p> <p>○広域的な視点をもった情報発信方法</p> <ul style="list-style-type: none"> ・町田市内に限定されている感じを受けるため、もう少し広域的な視野（自治体連携）が必要だ。 ・近隣都市へどうPRしていくかが重要だと考えている。 ・北部丘陵地域の場合、一気に観光客が増加したら拠点がパンクするため、ある程度限定する必要があるだろう。 <p>○テーマを絞った情報発信が効果的</p> <ul style="list-style-type: none"> ・広報する際は、テーマを絞った方がよい。地域マガジンに地域情報を掲載し、それを発信するのが効果的である。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ご意見を踏まえ、アクションプラン重点事業⑥において可能な限り記載しました。